

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	小豆(平畝2条直播) 50a、水稲 150a、水稲作業受託300 a (耕耘、代かき、田植、コンバイン収穫を一貫で受託)
自家労働	1.5 人
その他	①1年1作 ②中小型機械化体系 ③成形ロータリ播種機と大豆・ソバ用コンバインは借上げ ④乾燥・調製は農協等の機械を利用

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		○～○—————□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
作業場	木造	50 m ²	1,620,000	20	324,000	324,000	15	21,600	8	151,200	100	6,048
トラクタ	25ps	0.5 台	960,000	30	288,000	288,000	7	41,143	4	123,428	20	987
ロータリ	160cm	0.5 台	190,500	30	57,150	57,150	7	8,164	4	24,493	20	196
ブロードキャスト	300 ^リ	0.5 台	127,000	10	12,700	12,700	7	1,814	4	5,443	100	218
動力散布機	20 ^リ	1 台	102,000	10	10,200	10,200	7	1,457	4	4,372	100	175
草刈機	1.4ps	1 台	50,000	10	5,000	5,000	5	1,000	3	2,000	100	80
管理機	3.5ps	0.5 台	92,500	100	92,500	92,500	7	13,214	4	39,644	100	1,586
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	20	210,000	210,000	4	52,500	2	105,000	100	4,200
合計			4,192,000		999,550	999,550		140,893		455,580		13,490

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
小豆	大納言	平畝 2 条直播	120kg	10～30 a 区画 汎用化水田	50a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
土壌改良資材・ 基肥散布	7/中～7/下	苦土石灰	100kg	トラクタ・ プロトキヤスタ	○土壌改良資材、基肥を耕起前に散布する。	0.1	2	0.2	軽油 0.2
		硫安 PK化成	10kg 40kg	動力散布機 動力散布機	○土壌分析に基づいて適切な土壌改良資材を散布する。	0.6	1	0.8	混合油 0.5
耕起・整地 病害虫防除	7/中～7/下	ダイズノ粒剤	5kg	トラクタ・ロータリ 動力散布機	○好天時に耕耘砕土する。	2.0	1	2.1	軽油 9.0
					○全面散布した後、土壌混和する。 (タネバエ、コガネシジメ類)	0.2	1	0.2	混合油 0.2
播 種	7/中～7/下	種子	3kg	トラクタ・ 成形ロータリ 播種機	○播種粒数10～12粒/mとなるように調整する。	0.8	2	2.0	軽油 4.8
除草剤散布	7/中～7/下	トリアリゾレート粒剤	4kg	動力散布機	○雑草発生前に散布する。降雨直前の散布は避ける。	0.2	1	0.2	混合油 0.2
手取り除草 中 耕	随時 8/中～8/下			管理機	○本葉4～5葉時に、畝溝部分を除草を兼ねて行う。	1.3	1	4.0 2.4	ガソリン 3.0
病害虫防除	8/下 9/中 10/上	トリアリゾレート粒剤DL	4kg	動力散布機	○フェニメトアセート・カラムシ類防除を徹底する。	0.3	2	0.6	混合油 0.3
		バシット粉剤	4kg	動力散布機					
		トリアリゾレート粒剤DL	4kg	動力散布機					
畦 畔 草 刈	7～9			草刈機	○畦畔の草刈 (年 3 回程度)。	1.5	1	1.8	混合油 1.8
収 穫	11/上～11/中			大豆・ソバ用 コンバイン	○褐色した莢が 9 割以上になった頃に収穫する。	0.8	2	2.6	軽油 2.8
乾 燥	11/上～11/中			平置式 乾燥機	○通風乾燥を行う。	1.0	1	1.0	ガソリン 2.0
運 搬	11/下			軽トラック		0.3	1	0.3	ガソリン 0.2
調 製	11/下				○大豆選別機所有施設に委託。				
合 計								18.2	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	69,600	生産量① : 120 kg 単価② : 580 円/kg
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	69,600	
生産原価	種 苗 費	5,796	
	肥 料 費	7,557	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	5,373	〃
	諸 材 料 費	100	〃
	動力光熱費	4,168	
	農 具 費	5,568	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	648	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	10,000	
	共 済 掛 金	0	
	雇 用 労 賃	0	
	減価償却費⑤	28,179	別表のとおり
	土地改良費	1,970	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	69,359	
販売費一般	出荷資材費	368	
	販 売 諸 費	0	
	諸税負担金	2,571	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	1,130	農業新聞購読料、電話代
	支払利息⑦	473	借入資本利子率2%
	小計 (C)	4,542	
経 営 費 (D)	73,901	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	23,140	農 従 労 働 時 間 : 17.2 生産管理労働時間 0.6 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	97,041	主産物単位当たり 809 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	1,368	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04
利子(F)	固定資本利子	2,698	利子率4%
自 作 地 地 代 (G)	7,500		
全算入生産費 (H)	108,607	生産物単位当たり 905 円/kg 注 (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	-4,301	時間当たり -242 円 注 (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	-6	注 (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-39,007	注 (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)	-15,867	時間当たり -891 円 注 (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-27,441	注 (M) = (I) -⑧	

